

千葉県知事選の結果について

26日投開票の千葉県知事選挙は4人が立候補し、森田候補が当選しました。

千葉県の大規模開発の浪費をなくし、全国4位の財政力を全国最下位水準の福祉・教育・医療に振り向けるという、すみや候補の政策に共感が広がり、立候補表明してわずか40日間のたたかいで13万票を獲得しました。

今回の知事選は、県政史上初の市民と5つの政党・政治団体（自由党、日本共産党、緑の党・ちば、新社会党、市民ネットワーク）が一体となって選挙戦をたたかいました。その後、無所属県議、自主投票の民進党国会議員から応援が寄せられました。

また、今回は、市民が主人公の選挙戦、県下の44の自治体と6つの職域に勝手連が結成され、草の根選挙が行われました。さらに、すみや候補の教え子が応援に駆けつけるなど、若者が選挙戦に参加し、奮闘したのも特徴です。

知事選の構図は、改憲・利権組の森田・松崎候補 対 市民と野党共同のすみや候補でしたが、知事選の構図を有権者に鮮明にすることが充分できませんでした。

しかし、今回の知事選は、今後の県政刷新と国政選挙での市民と野党の共同の発展に希望を生み出しました。私たちは、ひきつづき公約実現のため、全力で取り組みます。

2017年3月26日

新しい知事を選ぶ会. ちば 選対本部長 関根由紀世